

# 家族バンザイ

## My Family

[シリーズ① 23万人目の市民秋山直枝さんの巻]



♡目の前にそびえる富士山に感激。



今回から、「家族バンザイ」を連載します。今月号は、二十三万人目の富士市民、秋山直枝さん一家に登場していただきました。

秋山さんのお宅は、芳光さんも美博さんも、そして直枝さん自身も小児科医というお医者さん一家。かわいい盛りの智紀ちゃんを囲んで、市民一年生から見えた。

富士市の自然は、すばらしいですね。富士山が目の前にそびえ、その一方で海も広がっていて——。山と海の両方の自然が楽しめます。富士山を見たとき、とても大きくてすごく感激しました。

富士市は、公害の街だったんですか。思ってたほどではないですね。空気のよどみもなくて、気にはなりません。

◆今は随分よくなつたんだよ。

♡富士の方言って、おもしろい。患者さんが「かじる」とか「まめつたい」とか言つても、最初は何のことかわかりませんでした。走ることを、「とぶ」って言うのも(笑)。

♡高校から横浜に出て、二十二年ぶりに戻りました。僕は、においを感じました。道がふえましたね。やたら道が多くて迷つてしまふ。広見町や富士見台には、家が数軒あつただけなのに。

♡引っ越しの荷物が片づかなくて、お義母さんの料理をいただき、おんぶにだっこです。これからも、どうぞよろしく!

♡私の家族は、みんなお医者さん。

♡四月二十二日に、転入届けを提出しました。夕方、市役所から電話があつて、二十三万人目の市民とのこと。ただただ、びっくり。

私の住んでいたのは、栃木県の国分寺町。関東平野の真ん中で、東京のベッドタウン。人口は一万五千人くらいですが、歴史は古く、史跡の多く残る町でした。

晴れた日には、小さく富士山も見えました。

(青島町)

◆お義父さん	秋山芳光	よしみつ	67歳
◇お義母さん	君子	きみこ	67歳
♥やさしい夫	美博	よしひろ	38歳
♡市民一年生の私	直枝	なおえ	27歳
●いとしき長男	智紀	ともり	1歳

新

茶の時期のしゅんの人。

さわやかな笑顔で広めたい  
おいしい富士のやぶ北茶

わだまり 和田真理さん

(20歳)



広

めたい、富士のお茶。

この前は、東京ドームと東京駅で、パックのお茶やパンフレットを配りました。皆さん喜んでいただきました。「富士のやぶ北茶」が、全国の人々に広まればいいなあと思います。

新茶が珍しいみたいで、とても喜んでいただきました。ミス茶娘クイーンコンテストは、二十歳がその人。新茶のような、さわやかな笑顔が売り物です。

八人の応募者の中から、クイーンとして選ばれました。任期は二年間。富士市の特産物「富士のやぶ北茶」を、全国に向けてPRしていきます。特に新茶のこの時期は、あちらこちらに引っ張りだこ。

新

めたい、富士のお茶。

「この前は、東京ドームと東京駅で、パックのお茶やパンフレットを配りました。皆さん喜んでいただきました。「富士のやぶ北茶」が、全国の人々に広まればいいなあと思います。

新茶が珍しいみたいで、とても喜んでいただきました。ミス茶娘クイーンコンテストは、二十歳がその人。新茶のような、さわやかな笑顔が売り物です。

八人の応募者の中から、クイーンとして選ばれました。任期は二年間。富士市の特産物「富士のやぶ北茶」を、全国に向けてPRしていきます。特に新茶のこの時期は、あちらこちらに引っ張りだこ。

趣味は、テニス、ドライブ、旅行とか。クイーンの賞品、ペアで行けるハワイ旅行は、「一番喜んでくれた両親にあげよう」と思つて」と答える、やさしいお嬢さんなのです。

